

チーム一中



やまゆり

一宮町立一宮中学校
 生徒数 340人(1年129名・2年118名・3年93名)
 発行者 校長 豊田 武文
 電話 0475-42-3079

【学校教育目標】

「輝く知性と豊かな心と健やかな体を育み、
 人間性あふれる生徒の育成」

めざす生徒像

い	命を大切にし、おもいやりのある生徒	【友情】
ち	力を合わせ、協力を重んずる生徒	【団結】
の	のびのびと、明るく健康で体力のある生徒	【頑強】
み	未来に夢を描き、意欲的に学ぶ生徒	【夢】
や	やる気とけじめをもち、礼儀正しい生徒	【礼節】

1 一学期が無事終了しました

本日で一学期が終了することができました。保護者の皆様にはPTA活動をはじめ各方面で大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げるとともに引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

今年度は、感染症対策の基本的考え方が変更され、以前のような活動が少しずつできるようになってきました。生徒達も体育祭、各学年の校外学習など大いに楽しむことができたのではないかと思います。「頑張った分だけ、感動は大きい!」、毎日の活動や学校行事をとおして一步一步、確実に成長している子供たちの姿を見ることができました。

さて、明日から42日間の夏休みに入ります。子供たちにはこの長期の休業を自己実現に向けて、有効に生かしてほしいと思っています。保護者の皆様には、お子様に休みを通して、家庭での役割や課題を与えていただければと思います。この休みを通して子供たちが大きく輝くことができるようになることを期待しています。

2 総合体育大会の結果 (7月16日まで)

- 野球 (7/8 茂原市営球場)
2回戦 2-3 富士見
- サッカー (7/9 長柄中学校)
2回戦 0-7 茂原
- バスケットボール (7/15.16 一宮GSS)
男子 1回戦 46-86 東
女子 1回戦 43-33 長生
2回戦 22-95 茂原
- バドミントン (7/15.16 茂原南中学校)
男子 団体 優勝 2対0 南
シングルス 優勝 南 偉颯
ダブルス 優勝 岩下駿斗・伊藤優心
準優勝 金谷虎次郎・廣瀬昌飛
第3位 藤井海静・河野匡汰
女子 団体 準優勝 0対2 南
ダブルス 優勝 森田真帆・森田瑠衣
第3位 佐藤滯・鶴沢心乃
※各優勝者は7/27.28の県大会に出場します。(会場: キックマンアリーナ)

○バレーボール

男子 準優勝
 決勝戦 (7/8 茂原市民体育館)
 0対2 睦 沢 準優勝



女子 第3位
 予選リーグ (7/8.15 茂原市民体育館)
 2-0 長生
 1-2 本納
 2-0 白子
 決勝トーナメント (7/16 茂原市民体育館)
 1回戦 2対1 睦沢
 準決勝 0対2 東

○柔道 (7/9 茂原市民体育館)

男子 団体 1回戦 1対4 白子教室
 個人 第3位 藤田親伯
 第3位 浅野蒼空
 女子 団体 準優勝
 決勝リーグ戦 0-2 富士見
 2-0 茂原 2-0 白子教室
 個人 準優勝 三浦友羽希
 優勝 齋藤ここね
 準優勝 藤田真妃琉

※女子3名は7/27.28の県大会に出場します。(会場: 東金アリーナ)



○剣道 (7/15.16 茂原市民体育館)

男子団体予選リーグ 1勝3敗
 0-5 長生 1-2 睦沢
 3-1 白子 0-5 南

3 一宮で受け継がれていく力

次の文章は茂原市青少年指導センター発行「くす」に掲載されたものです。(R23.9)

伝統の力

中略

猛暑の中、テレビでは連日高校野球が放送されていましたが千葉県からは、過去2回の優勝を誇る習志野高校が出場しました。最近では決して甲子園の常連校と呼ばれる学校ではありませんが、スポーツや吹奏楽においては、「習志野」といえば、名門として現在でもその名が知れ渡っています。

甲子園の大会には、常連校と呼ばれる学校もあれば、初出場の学校もあります。高校はプロではないので3年間で必ず全ての選手が入れ替わります。常連校も初出場も同じ条件です。だから初出場の高校が対戦相手が強豪であっても勝負はやってみなければわかりません。

しかし、試合が終わって何が勝負を分けたのか振り返った時、「さすが名門（伝統校）」と思わせる監督の采配や選手のプレーがそこにあったことに気づくことがあります。豊かな経験を持つ監督がいて、多くの卒業生が築き上げてきたものがある伝統校と呼ばれる学校は、こうした力もあって僅差の勝負に勝つことができているのかもしれない。

僅差の勝負に勝てる強いチームを作る時にこうした力があつたらどんなに助かるでしょう。しかし、伝統はすぐには作ることはできません。また、伝統を継承していくことは更に大変なことです。一度伝統を途切れさせてしまえば、それを復活させることは並大抵の努力では叶いません。だから、長くすばらしい伝統が継承されている学校を単なる伝統校と呼ぶのではなく、「名門（校）」と呼ぶのではないのでしょうか。

私たちも知らないうちに実はこうした力に助けられ、多くの成果を上げています。先輩たちが築き上げた伝統の上で、先輩たちの温かい目に見守られながら活動をしています。だから、私たちは先輩たちの期待に応え、伝統を絶やさぬよう、更に発展させていくよう頑張らなければなりません。

9月以降も学校では多くの行事があります。学校の伝統は体育祭や合唱コンクール、卒業式などの学校行事をみればよくわかります。各校の伝統の中で活躍する皆さんの姿を多くの人が期待しています。

総体が終わり9月からは新人戦が始まります。3年生は進路等でいろいろな場所に出かけていくことでしょう。生徒たちには、どの場面においても自分たちが一宮中の代表であることを誇りに、それぞれの場所で頑張ってもらいたいと思っています。

4 日々の取組

昨年度2学期の始業式で生徒たちと約束してから、私は毎朝校門に立って登校してくる生徒たちに挨拶をしています。月曜、木曜は朝の職員打ち合わせがあるので、7時30分から55分まで、それ以外の日は、7時30分から8時15分まで行っています。今年度からは、教頭も学校入口の信号の所で指導を行っています。小学生、高校生にも「おはよう」「行ってらっしゃい」「気を付けて」等、大きな声で挨拶をしています。「挨拶」と「交通安全」が子供たちにとっての重要な課題であることを皆に示すことができているのではないかと思います。

また、本校は「生徒が安心して活動できる安全できれいな学校」を目指し、環境整備に力を入れています。草刈りや樹木の剪定の他に今年度は特に花の栽培に力を入れています。子供たちには、入学式で体育館玄関や生徒昇降口に飾った花を含め今年度中に千株を植えることを約束しました。現在、地植えとプランターを合わせて、400株程度となりました。保護者の皆様には三者面談の際にミニひまわりやホウセンカ、朝顔等の花をご覧いただけたと思います。

以上日々の取組を二つ紹介したわけですが、いずれも私が生徒とした約束です。学校に大きな変革をもたらすことはできませんが、以前にも述べたように、大人が一度口にしたことをやり遂げようとする姿を子供たちに見せることは大切なことではないかと思っています。挨拶については、「雨の日も雪の日もやります」と、植物の栽培については、百や二百ではなく、「千やります」と言った約束を年度末までに確実に果たしていきたいと思っています。

5 2学期以降の主な学校行事

9/ 1	2学期始業式
9/ 7.8	前期期末テスト
10/ 4	生徒会選挙
10/ 6	前期通知表配付
10/20	やまゆり祭
10/16~20	自由参観
10/21	第2回再生資源回収
11/13.14	後期中間テスト
12/22	2学期終業式
1/ 9	3学期始業式
1/13	新入生説明会
2/10	第3回再生資源回収
2/20.21	3年生公立高校受検日
	1. 2年生後期期末テスト
3/ 1	3年生を送る会
3/ 8	卒業式（予定）
3/22	修了式、後期通知表配付